調査に関する事前評価 (未実施)

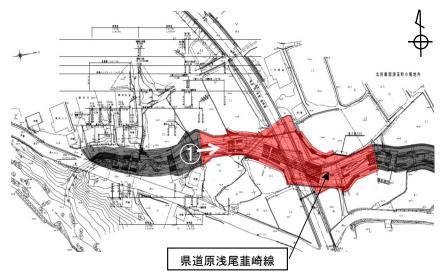
砂防堰堤 1基

令和3年度 公共事業事前評価調書(簡易型)

	補 🕽・ 県単
事業名 砂防事業 [火山砂防事業(国補)] 事業箇所 北柱市須玉町小尾 地区名 小麦沢川(コムギサワガワ) 事業主	本 山梨県
(1)事業の概要 (3)事業の妥当性評価	
①課題・背景 ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か) 「公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か))
本渓流は、渓床勾配1/9.5の急峻な土石流危険渓流である。流域面積は 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 1.48km2であり、上流域には山腹崩壊が多く存在し、荒廃が著しい。また、	
流域内には既設施設がなく下流域の安全を確保する必要があり、今後の台風やの事業執行主体の妥当性(見が行うべきか)	<u>. </u>
集中豪雨時には、土砂流出、流木による土石流発生の危険が高まっている。保	<u></u>
ま対象は、大家24月のほか県道、印道寺の公共施設も存在し、土石派が先生す。 ると甚大な災害を引き起こすことが予測される。土石流を抑止する渓流保全工	
を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。)
	年 R3
費用	43 百万円
② 整備目標・効果	18 百万円
	81 百万円
□主要目標 □工石流検書の防止 □万円 □工工工・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14 百万円
・災害実績 無・土砂整備率 53% < 70%※一	30 百万円
・重要公共施設の有無有 (県道)	6.8
(保全対象=人家24戸、県道150m等)	
※評価基準値	
□副次目標 ー)
流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である	_
地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防(2)整備内容の環境負荷等への配慮	
・ (2)	<u>′ </u>
②着手年度)
	'
⑤ 年度別の整備内容 (事業費)	
	ランク:a]
令和5年度	
令和6年度	1.7
令和7年度 渓流保全工工事 30 百万円 N	2
令和9年度 浮流保全TT事 30 百万円	
令和10年度	
令和11年度	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
令和12年度 渓流保全工工事 30百万円	
令和13年度	
WED#HODH B 12 2 75 1 10 1 10 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。 ⑤既整備内容・期間・事業費	Sur D

2.添付資料シート

【平面図】





保全対象:県道原浅尾韮崎線

渓流保全工計画地

【標準横断図】

